

令和7年度下期「電力利用効率化見学会」実施報告

11月11日(火)に2事業所を訪問、賛助会員22社30名に参加いただきました。

【ダイハツ九州株式会社久留米工場さま】(午前)

久留米市田主丸町に所在する同工場では軽自動車用エンジンを製造しており、同社中津工場に搬送後、そこで製造された車体に組み込まれています。

同社・同事業所及び製造工程の概要説明後、同社社員の案内で生産設備を見学。その後、省エネルギー及びカーボンニュートラルに関する取組内容の説明ならびに参加者との質疑応答を行っていただきました。



[イノベーションホールにて]

同事業所は2008年操業開始の新鋭工場であり、製造ラインの各セクションで電力量・蒸気等の使用実績を把握できるため、エネルギー使用量の多い箇所を優先的に改善を図っていること。また、新鋭であるためにダイハツグループ内の脱炭素目標達成をけん引するポジションにあり、高い水準の目標達成に向けて取り組んでいるとのことでした。

主要な取組みとして、設備面では高効率電動機の導入、照明のLED化など、また運用面ではエンジンブロックの原料となる溶解したアルミ(600℃)からの輻射熱対策、コンプレッサ吐出圧の最適化、エア漏れの定期的な点検などをご説明いただきました。

【鳥栖キューピー株式会社さま】(午後)

鳥栖市に所在する同社ではマヨネーズ・ベビーフードなどを生産しています。

1分間に600個の卵を割り卵黄・卵白・卵殻に分離する「割卵器」を見学後、同社・同事業所及び製品の概要、省エネルギー及びカーボンニュートラルに関する取組内容の説明ならびに参加者との質疑応答を行っていただきました。



同事業所は1964年操業開始、60年目を超える長い歴史があり、経年設備を保守・管理して運用していました。主な取組みとして、コンプレッサーや空調機の高効率機器への更新、滅菌窯への保温材貼り付けによる遮熱、ピンチトラップ更新による蒸気漏れの削減、LED照明への更新、受電設備の統廃合、猛暑対策(空調室外機への日除け設置・散水)などをご説明いただきました。対策を極力自分たちで施工することで、コスト抑制を図っていました。

また、同じ敷地内にある複数のグループ会社と協働で、全社員参加による「夢多”採り(ムダ取り)活動」を展開、全員の発案・取り組みにより小さな改善であってもそれを積み重ね、省エネ・脱炭素につなげていました。「夢多”採り活動」では品質改善・安全衛生・作業効率化など多岐にわたる提案が年間1,400件ほど挙がっており、うち1割程度が省エネに繋がっているとのこと。職場間の活動進捗状況を掲示、優秀な案件を表彰する等、改善活動のモチベーション維持向上を図っていました。

【参加者のご感想】

- ・ 他社の省エネ・脱炭素の取組みを見学させていただき、大変参考になった。
- ・ 直ぐにでもできそうな活動があった。今後の業務に活かしていきたい。
- ・ 次回も参加したい。

今後も、当協議会では、会員の皆さまの省エネルギー・脱炭素活動の参考にしていただける見学会を実施してまいります。